

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	特別養護老人ホーム整備支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	豊田 武彦			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特別養護老人ホーム入所希望待機者	意図	特別養護老人ホーム入所希望待機者を解消するため。
事業内容	新規特別養護老人ホーム運営事業者の公募及び選定、県との協議等。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和58年5月 初石苑(50床)／昭和62年4月 リバーパレス流山(100床)／平成11年4月 あざみ苑(108床)／平成17年11月 はまなす苑(60床)／平成23年4月 流山こまぎ安心館(100床)／平成25年2月 月の船(100床)／平成27年5月 美晴らしの里(100床)／平成28年5月 でいご(100床)／平成30年4月 花のいろ(100床)／令和2年4月 慶櫻美原の森(100床) 開設予定／令和3年4月以降(仮称)美晴らしの里おおたかの森(100床) 開設予定			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	特別養護老人ホーム入所希望待機者数	292	293	293	人	→→
②	市内特養箇所数	8	8	9	箇所	→→	(広域型のみ)
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

特別養護老人ホームの入所希望待機者数はほぼ横ばいとなっている。平成30年4月1日に花のいろ（100床）が開設した。令和2年4月に100床の整備（慶應美原の森）が予定されており、さらなる入所希望待機者の減少が見込まれる。平成23年4月 流山こまぎ安心館開設  
平成25年2月 月の船開設  
平成27年5月 美晴らしの里開設  
平成28年5月 でいご開設  
平成30年4月 花のいろ開設  
令和2年4月 慶櫻美原の森開設予定

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	68,650	402,720	527,360
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)	68,650	402,720	527,360
人役・職員(人)	0.01	0.06	0.08
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	人口の増加及び高齢者数の増加並びに待機者数の動向を見極め、必要な施設整備を進める。	③取組における課題(Check)	令和2年4月開設予定の慶應美原の森及び、令和3年4月以降に開設予定の(仮称)美晴らしの里おおたかの森について、引き続き支援を行っていく。
②H30に実施した取組(Do)	第7期介護保険事業計画に位置付けられた100床の整備を進めた。また、新たに特別養護老人ホームの公募を行い、事業者を選定した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	第8期介護保険事業計画策定に向けて、人口及び高齢者の増加率を踏まえた適切な施設整備を検討していく。